



献血に関する授業実践研究事業
実践報告



北海道教育委員会
平成 31 年 4 月

北海道教育委員会では、平成 29 年度から公立高等学校を対象に献血に関する授業実践校に指定し、保健体育科の科目「保健」における献血に関する実践研究を進めてまいりました。本実践報告は、平成 30 年度に取り組んだ各校の実践をまとめたものです。

各学校における献血に関する授業づくりの一助として活用いただければ幸いです。

【目 次】

1	授業実践研究の目的	2
2	授業実践の内容及び方法	3
3	授業実践校における実践	5

○北海道三笠高等学校 ○北海道札幌西陵高等学校

○北海道蘭越高等学校 ○北海道伊達高等学校

○北海道日高高等学校 ○北海道知内高等学校

○北海道江差高等学校 ○北海道東川高等学校

○北海道羽幌高等学校 ○北海道礼文高等学校

○北海道津別高等学校 ○北海道更別農業高等学校

○北海道釧路江南高等学校 ○北海道根室高等学校

1 授業実践研究の目的

少子高齢化が進み、輸血用血液製剤の需要が高まる一方で、若年層の献血者数が減少傾向にあります。

医療に欠かせない血液製剤は、病気やけがの治療には欠かせないものですが、医療技術が進歩している現代でも人工的に造ることができないため、献血による血液が必要になります。

そのため、将来の献血を支える高校生等の若年層が献血の意義や制度、健康被害救済制度などについて理解を深めることが重要であることから、授業実践校での取組を広く普及するなどして、高等学校等における献血に関する指導の充実を図ることを目的としています。

教育課程における位置付け

献血に関する内容は、保健体育科の科目「保健」のほか、理科などの関連教科、特別活動、総合的な探求の時間などで扱うことが考えられます。

【参考】 高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編（平成30年7月）

「保健」（4）健康を支える環境づくり

（ウ） 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関

ア 我が国の保健・医療制度

我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることを理解できるようにする。

その際、介護保険、臓器移植、献血の制度があることについても適宜触れるようにする。

（エ） 様々な保健活動や社会的対策

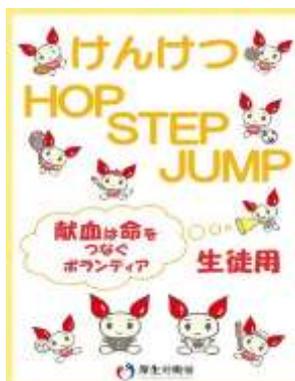
我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解できるようにする。その際、日本赤十字社などの民間の機関や、特定非営利活動法人(NPO)・非政府組織(NGO)の諸活動、世界保健機関などの国際機関等の活動について、ヘルスプロモーションの考え方に基づくものも含めて触れるようにする。また、このような活動や対策を充実させるためには、一人一人がそれらを理解し支えることが重要であることに触れるようにする。

2 授業実践研究の内容・方法

(1) 献血の意義や現状に関する理解を深める取組

保健・医療制度に関して、行政及びその他の機関などから保健・医療サービスなどが提供されていることを理解できるようにすることをねらいとして、テキスト「けんけつ HOP STEP JUMP」(厚生労働省)を活用した授業を行うことにより、献血の意義や現状などの知識を効果的に身に付けることができる。

実施にあたり、生徒への事前アンケートにより、指導内容の焦点化や興味・関心の高揚を図るなどの工夫が考えられる。



【内容】

- 必要不可欠な献血
- 高校生のみなさんへのお願い
- 献血の基礎知識
- 献血の手順
- 患者さんに血液が届くまで
- 献血Q&A
- ミニコラム
- 輸血を受けた方々・献血した方々の声 など

【授業実践校での活用】

- 血液センター作成講演用データと併せて、学校独自のスライドを作成
- 学習内容の復習と知識の深化を図るため、授業後に配付 など

(2) 献血の課題を理解し、解決方策を考える取組

献血の現状や課題等について理解した後、個人やグループで課題を解決するためにどのような取組を行えばよいかを考えたり、協議したりする活動を行うことで、健康や環境を改善していくための資質・能力を育むことができる。

解決方策を考えることにより、自分にも関わることとして捉えるなど、自他の健康やそれを支える環境づくりと日常生活との関連が深い教材として扱うことができる。

【協議テーマ例】

- ・ 若者の献血者数を増やす取組
- ・ 献血に親しみをもつ方法 など



【授業実践校での取組の工夫】

- 個人の考えをまとめ、グループ協議で活用できるワークシートの工夫
- ロールプレイングによる疑似体験
- KJ法を活用したグループ協議
- 教科横断的な調べ学習の実施 など

(3) 学び、考えたことを発信する取組

学習したことや考えたことを発表することにより、考えを整理する力や表現する力を育成することができる。

学校外へ発信する場を意図的に作ることににより、生徒が保健・医療機関等の参画を推進するきっかけとすることができる。



【授業実践校での取組】

- 地域の行事における地域住民への啓蒙活動
- 全校生徒による「赤十字いのちと献血俳句コンテスト」俳句づくりの取組など

(4) 外部関係機関等との連携した取組

献血の現状等を理解させるため、北海道赤十字血液センターの職員をはじめ、消防署や地域関係団体等と連携して取り組むことで効果的に学習を進めることができる。

血液センター職員との連携では、事前打合せで献血に関する情報を収集するとともに、当日は職員にも授業に参加してもらい、授業者の説明の補足をしてもらったり、献血セミナーにおいて、専門的な知見から輸血の歴史や血液の成分などについて説明をしてもらったりして、生徒の理解を促す学習などが考えられる。



【授業実践校における取組】

- 献血に関する情報の収集（データや各種資料、職員からの説明など）
- 授業内容の打合せ、授業の参観、授業後の学習内容についての助言
- 献血に関する内容と結びつけた普通救命講習の実施
- 地域行事において、発表の機会を確保 など

(5) 事前事後アンケートの実施

授業等の前後で生徒の意識・知識の変化を把握するため、全ての学校において事前事後アンケートを実施した。その結果、全ての学校において献血事業への関心の高まりや、若年層の献血者が減少していることなどの理解の深まりが見られた。

3 授業実践校における実践

【授業実践校一覧】

平成30年度授業実践校	実施学年				キーワード	ページ
	科目「保健」	関連教科	献血セミナー	ほか		
北海道三笠高等学校	1 学年				・グループワーク	6
北海道札幌西陵高等学校	2 学年				・自作パワーポイント資料	6
北海道蘭越高等学校	2 学年 ・国語表現、情報			2 学年	・教科横断的な学習	7
北海道伊達高等学校	2 学年		2 学年		・事前学習	7
北海道日高高等学校	全学年		全学年		・事前学習	8
北海道知内高等学校	1 学年			1 学年 ・総合的な 学習の時間	・普通救命講習	8
北海道江差高等学校	1 学年		3 学年		・タイムリーな事例	9
北海道東川高等学校	1 学年	1 学年 ・生物基礎	1 学年		・教科横断的な学習	9
北海道羽幌高等学校	1 学年		1・3 学年		・薬物乱用防止教室等と関連を図った取組	10
北海道礼文高等学校	2 学年				・ロールプレイング	10
北海道津別高等学校	2 学年		全学年		・グループワーク	11
北海道更別農業高等学校	2 学年		2 学年		・グループワーク	11
北海道釧路江南高等学校	1・2 学年		1・2 学年		・献血推進映画	12
北海道根室高等学校	2 学年				・グループワーク	12